



感染管理認定看護師とは…

みなさん、感染症のことはご存じですか？

何のことかよくわからないと感じるかもしれません。細菌やウイルスが引き起こす病気のことです。だからと言って、すべての菌を消毒して無くしてしまえばいいかというところでもありません。常在菌といって人を守る働きをする菌もあります。

しかし、この常在菌が極端に少なくなったり、抵抗力が低くなると細菌やウイルスが体の中に入り感染症を引き起こします。感染管理は、こうした感染を予防したり、病院内で感染が広がらないように対策をとることが仕事です。



さて、私は昨年6月に感染管理認定看護師の資格を取得しました。この道を目指したきっかけは、病棟で10年ほど働く中で感染は全てのケアに精通し、感染対策なくして医療ケアは行えないのではないかと気づいたことにあります。そこで、より深く学びたいと思い、一歩前に足を踏み出すことにしました。

この資格は、日本看護協会が「医療

現場における看護ケアの広がり看護の質向上」を目的とし、資格認定制度を発足させたことから始まります。認定看護師は21分野あります。そして、看護師の臨床経験が5年以上、かつ3年以上その分野の活動実績を有する者が研修施設を受験することができます。

私は、病院（厚生連）からの全面的なバックアップをいただき、東京都清瀬市にある日本看護協会看護研修学校へ入学し、北は青森から南は沖縄まで全国各地から集まった年齢も経験年数も施設背景も全く違う29名の仲間と共に7か月間学んできました。今までの人生の中であんなにも学び、考え、悩み、そして仲間と苦楽を乗り越えた経験はなかったのではないかと思います。

現在は、感染対策室で感染に関することだけに対応しています。主に、県内の感染症発生情報を素早くキャッチして院内ニュースを発行したり、病院環境の巡回、新人教育、職員研修会などを行っています。また、病院を訪れる方に注意喚起を促すポスターを掲示したり、「地域の皆さまへのワンポイントレッスン」と称した感染の基礎知識や手洗い方法の研修なども行っています。

さらに、最近では県内の病院施設の方々

と共に最善策を考えるアドバイザーをさせていただいております。このネットワークづくりが自分の視野を広げることにもつながっています。今後も先輩方にご指導いただきながら経験を重ね少しずつ前に進んでいきたいと思えます。

最後に、現在インフルエンザ・感染性胃腸炎が流行しております。基本にはなりますが、昔からこの家庭でも行っていた「家に着いたらうがい、石けんを使った手洗い」がとても大切になります。また、人混みに出る際は「マスクをつける」ことも効果的です。しかし一番土台となるのが普段からの健康管理です。栄養と睡眠を十分にとり抵抗力を高めておくことが必要です。『予防に勝る治療なし』です。

